

極樂浄土へのあこがれ

THE TEMPLE TREASURES OF  
KYOTO'S  
SHINNYODO

特別展  
京都  
真如堂の  
名宝



2026  
7/4(土)→8/30(日)

PRESS RELEASE



三井記念美術館  
Mitsui Memorial Museum

# 特別展

## 京都・真如堂の名宝

展覧会名 特別展 京都・真如堂の名宝

Special Exhibition  
The Temple Treasures of Kyoto's Shinnyodo

会期 令和8年(2026)7月4日(土)～8月30日(日)\*会期中、展示替えを行います。

開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(但し7月20日は開館)、7月21日(火)。

主催 三井記念美術館、朝日新聞社

共催 真正極楽寺 真如堂

入館料 一般1,500(1,200)円/大学・高校生1,000(800)円/中学生以下無料

※70歳以上の方は1,200円(要証明)。

※20名様以上の団体の方は( )内割引料金となります。

※リピーター割引:会期中、半券のご提示で、2回目以降は( )内割引料金となります。

※障害者手帳をご呈示いただいた方、およびその介護者1名は無料です(ミライロIDも可)。

会場 三井記念美術館 / Mitsui Memorial Museum

[〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-1-1 三井本館7階]

東京メトロ銀座線「三越前」駅A7出口徒歩1分/東京メトロ半蔵門線「三越前」駅徒歩3分A7出口徒歩1分/

東京メトロ銀座線・東西線「日本橋」駅B9出口徒歩4分/

メトロリンク日本橋(無料巡回バス)乗降所「三井記念美術館」徒歩1分

読者からの

お問い合わせ先 050-5541-8600(ハローダイヤル)

ホームページ <https://www.mitsui-museum.jp>

特別講演会 2026年8月1日(土) 13:00～15:50

「真如堂本尊と因幡堂平等寺薬師如来立像をめぐって」

講師:岩佐 光晴(三井記念美術館館長)

「〔新出〕鎌倉時代の阿弥陀如来立像二体 ～真如堂一山 法輪院、喜運院の本尊像～」

講師:清水 眞澄(三井記念美術館名誉館長)

会場:野村コンファレンスプラザ日本橋・5階大ホール

(東京都中央区日本橋室町2-4-3 日本橋室町野村ビル[YUITO]5階)

\*事前申し込み要。申し込み方法など詳細については、当館ホームページをご覧ください。

\*土曜講座、その他の展覧会関連イベントについては、当館ホームページをご覧ください。

\*開催内容を変更する場合がありますので、最新の情報は、当館ホームページまたはハローダイヤルにてご確認ください。

また、展示室内の混雑を避けるため入場制限を行う場合があります。

報道関係の方からの  
お問い合わせ先

三井記念美術館広報事務局 担当:大原、松井、富樫 TEL:03-6275-0243 / 090-6535-7754  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-41 神保町SF1ビル206 E-mail:mitsui@annex-inc.jp

## 展覧会の概要

京都・洛東に所在する天台宗の古刹、真正極楽寺 真如堂。その創建は平安時代にさかのぼり、比叡山の戒算上人が常行堂の阿弥陀如来像を東三条院の離宮へ遷したことに始まります。本尊は比叡山から移安した阿弥陀如来立像で、開創以来、篤い信仰を集めてきました。

本展は、真如堂をテーマとする初めての展覧会です。真如堂に伝わる仏像・絵画・経典をはじめとする貴重な文化財を一堂に会し、その歴史と信仰の歩みをご紹介します。なかでも、真如堂一山の法輪院・喜運院に伝来する鎌倉時代の阿弥陀如来立像など、多くの作品が寺外初公開となります。

さらに本展では、真如堂の創建期にあたる10世紀後半から11世紀初頭の造仏界に着目し、比叡山および都で制作された仏像の数々を展覧します。あわせて、同寺が三井家の菩提寺として深い関わりを有してきたことから、三井家ゆかりの肖像や絵画などもご紹介します。

## 展示構成と主な展示作品

\*: 広報用画像貸出作品

### 展示室1

## 真如堂の歴史と三井家 1

真如堂は、平安時代に比叡山の戒算上人によって開かれた天台宗の古刹です。本尊の阿弥陀如来立像は比叡山から移安したとされ、慈覚大師円仁の自刻と伝えられています。応仁の乱によって伽藍を焼失し、その後も移転や火災を繰り返しましたが、江戸時代に現在地で再興されました。とりわけ江戸時代には、三井家の元祖である三井高利夫妻が檀家となったことを契機に、真如堂と三井家は深い関わりを持つようになります。

展示室1では、真如堂の歴史を伝える書画をはじめ、三井高利夫妻ら三井家の肖像彫刻などを展示します。



1

慈覚大師霊木図

江戸時代・17～18世紀 真正極楽寺 真如堂



2\*

三井高利夫妻坐像

江戸時代・17世紀 真正極楽寺 真如堂



3

摩多羅神坐像

駒井柳朝作 江戸時代・18世紀 真正極楽寺 真如堂

## 展示室2

## 国宝「法華経(運慶願経)」

展示室2では、国宝『法華経(運慶願経)』を展示します。鎌倉時代の仏師・運慶が発願した法華経で、「運慶願経」として知られています。現存する七巻(巻第二～八)のうち六巻を真如堂が所蔵しており、本展では巻第三・第五・第七を公開します。



4\*

## 国宝 法華経(運慶願経) 巻第七

弥賀筆 鎌倉時代・寿永2年(1183) 真正極楽寺 真如堂  
(画像提供: 京都国立博物館) [展示期間8月4日～8月30日]

## 展示室3・4

## 真如堂の本尊と同時代の仏像

真如堂の本尊・阿弥陀如来立像は、本堂建立時の正暦5年(994)頃の作とされ、現存する阿弥陀如来立像として最古級の作例に位置づけられています。通例の阿弥陀如来像とは異なる印相や、足裏に足柄を造り出さない特殊な構造を備えることでも知られ、後世には彫刻や絵画による模刻・模写像が制作されました。

また、真如堂本尊が造立された10世紀後半から11世紀初頭は、平安時代前期にみられる重厚な作風から、穏やかな「和様」へと移行していく時期にあたります。

本展では、本尊の模刻像をはじめ、10世紀から11世紀にかけて都や比叡山に伝来した仏像を展観し、この時期の仏像にみられる造形表現の諸相をご紹介します。



5

## 地藏菩薩立像

平安時代・10世紀  
真正極楽寺 真如堂



6

## 薬師如来立像

平安時代・10～11世紀  
滋賀・西教寺  
(画像提供: 天津市歴史博物館)



7\*

## 重要文化財

## 薬師如来立像

平安時代・11世紀 京都・因幡堂平等寺  
(画像提供: 東京国立博物館)  
Image: TNM Image Archives)



8\*

## 重要文化財

## 毘沙門天立像

平安時代・11世紀 京都・誓願寺  
(画像提供: 京都国立博物館)

## 寺外初公開！ 鎌倉時代の阿弥陀如来立像

真如堂山内寺院の法輪院に伝来する阿弥陀如来立像は、近年の調査によって、像内から仏師「院蓮」の名と建長5年（1253）の制作年を記した墨書銘が発見されました。

また、真如堂山内の喜運院に伝来する阿弥陀如来立像は、鎌倉時代の作で真如堂本尊との構造上の共通性も指摘されています。これら二体はいずれも寺外初公開となります。



9\*

あみだにょらいりゅうぞう  
阿弥陀如来立像

院蓮作 鎌倉時代・建長5年(1253)  
真如堂一山 法輪院  
(画像提供:美術院)



10\*

あみだにょらいりゅうぞう  
阿弥陀如来立像

鎌倉時代・13世紀  
真如堂一山 喜運院

## 真如堂伝来の仏教美術

真如堂には、彫刻や絵画をはじめとする多彩な仏教美術が伝来しています。その内容はきわめて豊かで、天台宗の古刹ならではの天台系密教に関連する作例が多くみられるほか、本尊にちなみ、阿弥陀如来に関する作品が数多く含まれていることも大きな特徴です。ここでは、真如堂に伝わる仏像・仏画の数々をご紹介します。



11

しんじょうどう あみだにょらいりゅうぞう  
真如堂阿弥陀如来像

鎌倉時代・13～14世紀  
龍谷ミュージアム  
〔展示期間：7月4日～8月2日〕



12

重要文化財  
ろうしぞう (伝 普賢菩薩像)

南宋～元時代・13～14世紀  
真正極楽寺 真如堂  
(画像提供:京都国立博物館)  
〔展示期間：8月4日～8月30日〕



13

おつねはんず  
仏涅槃図

南北朝時代・14世紀  
真正極楽寺 真如堂  
〔展示期間：8月4日～8月30日〕

## 展示室5

## 真如堂縁起

『真如堂縁起』は、真如堂創建の由来や寺の変遷が描かれた三巻本の絵巻です。巻下の奥書によれば、真如堂住持・昭淳の発願により、定法寺公助が詞書を起草し、絵は掃部助久国が担当して、大永4年（1524）8月に完成したことが知られます。本展では、このうち中巻・下巻を展示するとともに、海北友竹筆と伝わる江戸時代の模本三巻もあわせてご紹介します。

このほか展示室5では、室町三井家二代の継室寿月が、真如堂の阿弥陀如来像を模刻した経緯とその霊験を描いた『真如堂尊像模刻靈感記』も展示します。



14

## 重要文化財 真如堂縁起 巻中

室町時代・大永4年（1524）

真正極楽寺 真如堂 絵：掃部助久国筆

詞：巻中 伏見宮邦高親王・青蓮院尊鎮法親王筆

（画像提供：京都国立博物館）〔展示期間：7月4日～8月2日〕



15\*

## 真如堂尊像模刻靈感記

下巻 詞：寿月筆 三井高興識

江戸時代・元文3年（1738）

三井記念美術館

## 展示室7

## 真如堂伝来の書画

展示室7では、真如堂に伝わるさまざまな書画をご紹介します。なかでも、足利義輝、豊臣秀吉、徳川家康といった歴史上著名な人物の肖像画を展示するほか、近年の調査によって新たに確認された、豊臣秀吉に関わる古文書（太閤検地帳・朱印状）も特別展示します。

また、真如堂では本尊の脇侍として不動明王が祀られています。この不動明王は、平安時代の陰陽師・安倍晴

16\*

## 足利義輝像

桃山時代・16世紀

真正極楽寺 真如堂



めい  
明の念持仏であったと伝えられています。さらに、『真如堂縁起』には安倍晴明にまつわる逸話が記されており、本展ではその場面を描いた作品もご紹介します。



17\*

とよとみひでよしぞう  
豊臣秀吉像江戸時代・17世紀  
真正極楽寺 真如堂

18\*

あべのせいめい そせいず  
安倍晴明蘇生図江戸時代・17世紀  
真正極楽寺 真如堂

## 真如堂の歴史と三井家 2

真如堂は、江戸時代に三井家の元祖である三井高利が菩提寺と定めて以降、三井家と深い関係を築いてきました。三井家からは、堂宇・仏像・法具をはじめ、書画など数多くの品々が寄進されています。さらに戦後は、三井グループ各社の社長交流組織である二木会が中心となって、戦前の三井家の歴史が今日まで受け継がれています。

本展では、そうした真如堂と三井家との歴史的関係のなかで寄進された作品のうち、絵画を中心に展示します。



20

ほうしんなんびんゆうぜん  
傲沈南蘋友禅  
びくねんしらさぎず  
白蓮白鷺図西村総右衛門製  
明治時代・19世紀  
真正極楽寺 真如堂

19

しゃかさんぞんぞう  
釈迦三尊像のうち釈迦如来像室町時代・16世紀  
三井高平表具新調  
真正極楽寺 真如堂

21\*

とらず  
虎図三井高福筆  
明治時代・19世紀  
真正極楽寺 真如堂

# 特別展 京都・真如堂の名宝

## 展覧会広報用画像について

展覧会の広報用貸出画像データ／読者プレゼント招待券をご希望される方は、下記ご確認の上お申し込みください。

\* 画像は展覧会の広報用としての使用に限らせていただきます。展覧会終了後の利用、また二次利用はお断りしております。

\* 画像掲載にあたっては、【記載クレジット】を必ずご記載ください。

\* Webサイトで掲載の場合は、必ず画像にコピーガードをかけてください。

\* 読者プレゼントの際には作品画像を掲載し、展覧会会期中にご紹介ください。またお手数ですが、招待券プレゼントの受付・発送などは貴社、貴編集部にてお願いいたします。

\* ご掲載紙・誌等は広報事務局までご送付ください。

[貸出画像リスト] 作品掲載にあたっては下記の情報をご明記ください

2	三井高利夫妻坐像	江戸時代・17世紀	真正極楽寺 真如堂
4	国宝 法華経(運慶願経) 巻第七 瓊賀筆	鎌倉時代・寿永2年(1183)	真正極楽寺 真如堂 (画像提供:京都国立博物館) [展示期間8月4日~8月30日]
7	重要文化財 薬師如来立像	平安時代・11世紀	京都・因幡堂平等寺 (画像提供:東京国立博物館 Image: TNM Image Archives)
8	重要文化財 毘沙門天立像	平安時代・11世紀	京都・誓願寺 (画像提供:京都国立博物館)
9	阿弥陀如来立像 院蓮作	鎌倉時代・建長5年(1253)	真如堂一山 法輪院 (画像提供:美術院)
10	阿弥陀如来立像	鎌倉時代・13世紀	真如堂一山 喜運院
15	真如堂尊像模刻靈感記 下巻 詞:寿月筆 三井高興識	江戸時代・元文3年(1738)	三井記念美術館
16	足利義輝像	室町時代・16世紀	真正極楽寺 真如堂
17	豊臣秀吉像	桃山時代・16世紀	真正極楽寺 真如堂
18	安倍晴明蘇生図	江戸時代・17世紀	真正極楽寺 真如堂
21	虎図 三井高福筆	明治時代・19世紀	真正極楽寺 真如堂
読者招待券	5組10枚まで受付	※申し込み受付は 2026年7月3日まで	

### お申し込み方法

当館ホームページ「プレスの方へ」ページの申込フォームに必要事項を入力し、お申し込みください。

入力いただいたアドレスに広報事務局よりメールをお送りします。



三井記念美術館ホームページ「プレスの方へ」ページ  
<https://www.mitsui-museum.jp/press/press.html>

プレス関係の方からの  
お問い合わせ先

三井記念美術館広報事務局 担当:大原、松井、富樫 TEL:03-6275-0243 / 090-6535-7754  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-41 神保町SF1ビル206 E-mail:mitsui@annex-inc.jp